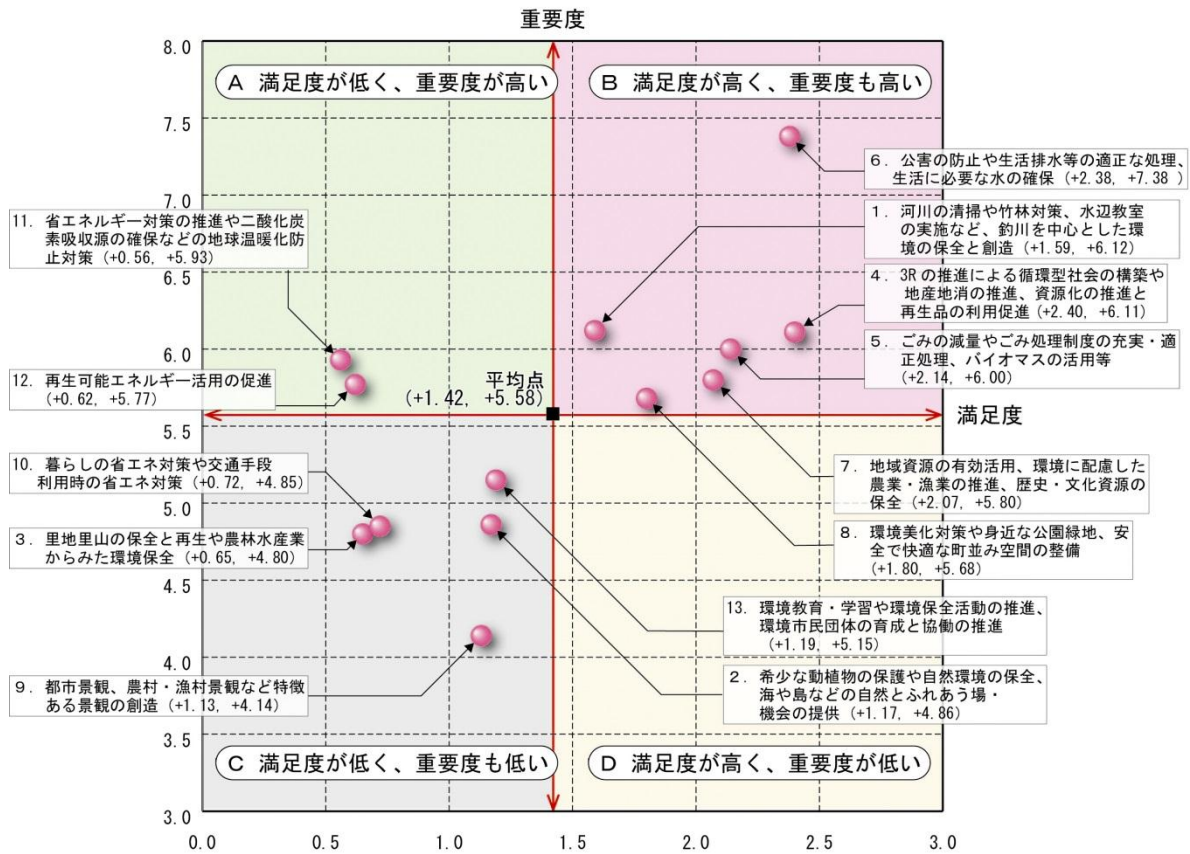


基礎調査結果の総括 2 (評価)

1. 市民の評価

- ・市民アンケート結果による評価



●加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。重要度も同じ。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{matrix} \text{「かなり満足」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times (-5 \text{点}) \\ + \\ \text{「かなり不満」の回答者数} \times (-10 \text{点}) \end{matrix}}{\begin{matrix} \text{「かなり満足」、「やや満足」} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「やや不満」、「かなり不満」} \\ \text{の回答者数} \end{matrix}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。

2. 施策の実施状況

- ・環境関連施策及び事業等調査の結果を踏まえた施策の進捗状況の評価

■施策の進捗状況

環境目標	施策の方向性	基本的な施策(要約)	実施状況 ※1	施策の数	実施数	実施率	市民アンケート調査結果 ※2	
1 優れた自然と共生するため	(1)川を中心とした環境の保全と創造	①「釣川グリーンネット基本構想・計画」の推進	○	1	1	100%	B	
	(2)優れた自然環境の保全と活用	①希少な動植物の保護	△	3	2	75%	C	
		②法に基づく自然環境の保全	△	2	1			
		③海や島などの自然とふれあう場・機会の創出	○	3	3			
	(3)多様な生態系の保全と再生	①里地里山の保全と再生	○	4	4	100%	C	
		②農林水産業からみた環境保全	○	2	2			
2 住み良いまちを持続するため	(1)循環型社会の構築	①3Rの推進による循環型社会の構築	○	3	3	100%	B	
		②地産地消の推進(有効資源の再生利用)	○	1	1			
		③資源化の推進と再生品の利用促進	○	2	2			
	(2)ごみ減量の推進	①ごみ減量の推進	○	1	1	100%	B	
		②ごみ処理制度の充実・整備と適正処理	○	3	3			
		③バイオマスの活用検討	○	1	1			
	(3)生活環境の保全	①公害の防止	○	3	3	100%	B	
		②生活排水等の適正な処理	○	2	2			
		③生活に必要な水の確保	○	2	2			
	3 うるおいある地域を創るために	(1)地域資源の保全と活用	①“地域資源”の有効活用	○	2	2	100%	B
			②環境に配慮した農業・漁業の推進	○	1	1		
			③歴史・文化資源の保全と活用	○	3	3		
(2)快適で美しいまちの創造		①環境美化対策の推進	△	3	2	75%	B	
		②身近な公園緑地の整備	△	3	2			
		③安全で快適な街なみ空間の整備	○	2	2			
(3)特徴ある景観の創造		①都市景観、農村・漁村景観の形成	△	3	2	67%	C	
4 美しい地球のために		(1)暮らしの中の省エネ対策	①暮らしの中の省エネ対策	○	2	2	100%	C
			②交通手段利用時の省エネ対策	○	2	2		
	(2)地球温暖化防止対策	①省エネルギー対策の推進	△	4	3	67%	A	
		②二酸化炭素吸収源の確保	△	2	1			
	(3)新エネルギーの有効利用	①新エネルギー活用の促進	○	2	2	100%	A	
	計				62	55	89%	—

※1: ○:概ね実施している。△:一部実施している。×:実施していない。

※2: 前頁のグラフの第1~4象限(A~D)を示す。平成28年度に実施した市民アンケート調査において、現計画の施策についての満足度と重要度を聞き、相対的に比較した結果で、各象限は下記のとおり分けられる。

- A:満足度が低く、重要度は高い。
- B:満足度が高く、重要度も高い。
- C:満足度が低く、重要度も低い。
- D:満足度が高く、重要度は低い。

3. 主要環境プログラムの実施状況

・主要環境プログラムの進捗を踏まえた評価

主要環境プログラム	実施プログラム	実施状況	実施状況 ※1	施策の数	実施数	実施率
1. 「釣川グリーンネット基本構想・計画」の推進	水源かん養林の保全・保育	・新立山にて定期的な下草刈りの実施 ・小学校4年生の水辺教室の実施	△	3	2	67%
	農地の保全	・3地区の農業体験農園を整備 ・各種農業体験事業を実施 ・ため池や水路など地域との協働で管理	○	3	3	100%
	竹林の管理	・NPO 法人里山の会による竹林の定期的な伐採の実施 ・放置竹林モデル対策事業 ・福岡県放置竹林対策連絡会議に加入	○	3	3	100%
2. 循環型社会づくりの推進	3Rの推進	・分別収集のシステム継続実施 ・マイバッグ普及運動の実施	○	2	2	100%
	地域循環システムの構築(食と農と環境)	・玄海地域のホテル・旅館・飲食店から出る生ごみを肥料化、その肥料で栽培した有機野菜を販売する循環システムを構築	○	2	2	100%
	地域循環システムの構築(地産地消の推進)	・地元農産物の学校給食への提供 ・宗像産農水産物活用レシピの作成				
3. 地域資源活用の推進	地域資源の保全と活用	・道の駅ひなかたを拠点にエコツーリズムを推進	○	1	1	100%
4. 暮らしの中の省エネルギー対策の推進	暮らしの中の省エネ対策	・エコ出前講座を開催し環境家計簿の普及を行っている ・マイ箸運動の実施	△	3	2	67%
	交通手段利用時の省エネ対策(自動車以外の交通の利用促進)	・路線バスの時刻改定 ・赤間駅等で自転車駐車を整備	△	4	2	50%
	交通手段利用時の省エネ対策(エコドライブ運動の推進)	・燃料消費の少ない運転方法の市広報紙に啓発記事を掲載	△	3	1	33%
5. 協働による計画の推進	市民協働組織の設立	・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)で市民協働会議を開催	○	1	1	100%
	環境リーダーの育成と市民活動支援	・環境リーダー育成講座を開催 ・宗像環境団体連絡協議会を設立 ・各種市民活動団体への情報提供や補助金を交付	△	3	2	67%
	環境教育プログラムの作成		×	1	0	0%
	新システムの導入検討(「地域環境保全協定制度」の導入検討)	・優良環境行動賞の表彰を実施	△	2	1	50%
	新システムの導入検討(「ポイントシステム」の導入検討)		×	1	0	0%

※1: ○:概ね実施している。△:一部実施している。×:実施していない。

4. 目標数値の達成状況

・目標数値の達成状況による評価

計画指標	単位	現況値 (現況年)	目標値 (目標年)	実績値 (実績年)	評価 ^{※1}
自然景観の美しさに満足する市民の割合	%	58.5 (H18年度)	66.0 (H29年度)	63.8 (H28年度)	△
水や水辺とのふれあいに満足する市民の割合	%	28.3 (H18年度)	41.0 (H29年度)	33.9 (H28年度)	△
緑とのふれあいに満足する市民の割合	%	53.4 (H18年度)	62.0 (H29年度)	59.4 (H28年度)	△
野鳥や昆虫等とのふれあいに満足する市民の割合	%	43.9 (H18年度)	51.0 (H29年度)	46.8 (H28年度)	△
ごみ総排出量	トン	36,740 (H16年度)	36,964 (H27年度)	32,608 (H25年度)	○
リサイクル率	%	29.2 (H16年度)	36.4 (H27年度)	28.0 (H25年度)	×
ごみ処理量	トン	30,722 (H16年度)	27,886 (H27年度)	28,274 (H25年度)	△
ポイ捨てなどの散乱ごみの少なさに満足する市民の割合	%	28.6 (H18年度)	46.0 (H29年度)	35.0 (H28年度)	△
川や池、海の水のきれいさに満足する市民の割合	%	34.7 (H18年度)	49.0 (H29年度)	44.8 (H28年度)	△
污水衛生処理率	%	93.2 (H16年度)	96.7 (H27年度)	97.9 (H25年度)	○
住民の環境に関するモラルに満足する市民の割合	%	26.6 (H18年度)	43.0 (H29年度)	42.5 (H28年度)	△
公園や野外レクリエーション地の充実に満足する市民の割合	%	41.9 (H18年度)	52.0 (H29年度)	45.7 (H28年度)	△
街なみ景観の美しさに満足する市民の割合	%	38.3 (H18年度)	50.0 (H29年度)	45.5 (H28年度)	△
歴史や伝統に関するまちの雰囲気満足する市民の割合	%	26.7 (H18年度)	36.0 (H29年度)	42.3 (H28年度)	○
文化財、遺跡等の保存・整備状況に満足する市民の割合	%	24.5 (H18年度)	33.0 (H29年度)	43.5 (H28年度)	○
市民1人あたりの二酸化炭素排出量	t-CO ₂ /人	3.84 5.10 (H15年度)	3.7 4.90 (H29年度)	6.07 (H25年度)	×

※1: ○:目標値を満足している。△:目標値は満たしていないが、改善の傾向がみられる。×:改善の傾向が見られない。

注)「市民1人あたりの二酸化炭素排出量」の現況値、目標値は算定方法の見直しにあたって数値を変更している。